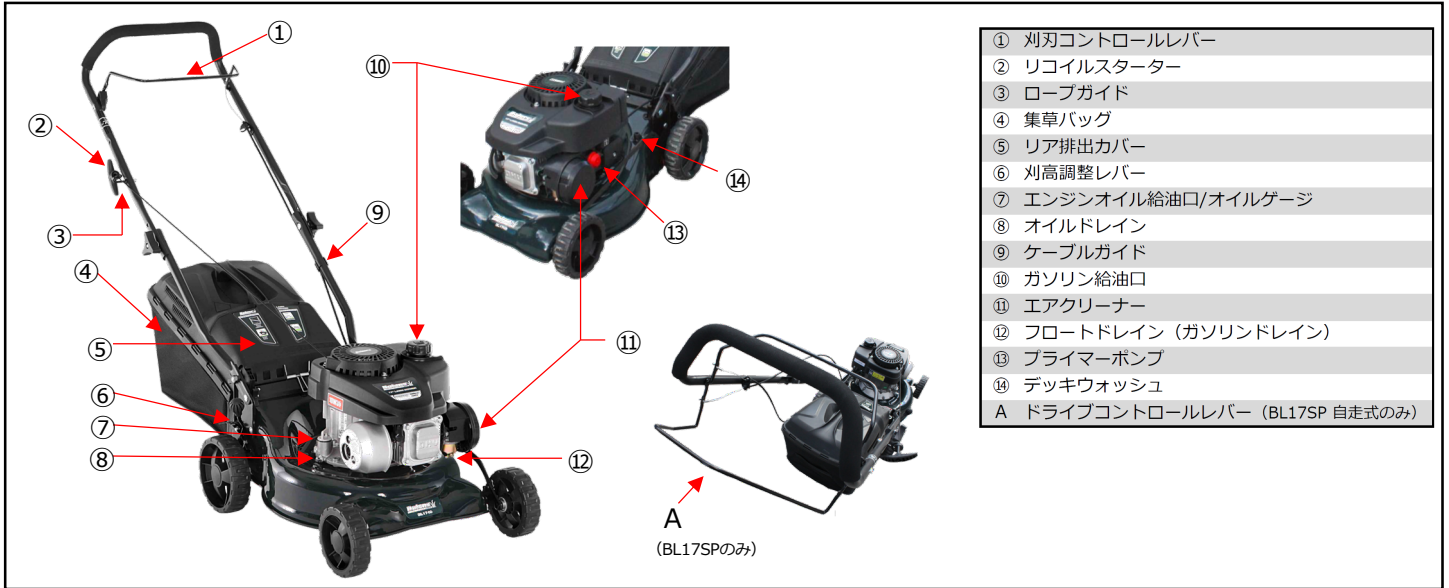


MTD エンジン式 芝刈機 BL17、BL17SP ご使用の手引き

この度は、MTD 芝刈機BL17 をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の手引きでは操作方法について基本的な事項をご説明致します。合わせて操作マニュアルもお読みいただき、安全にご使用ください。



①	刈刃コントロールレバー
②	リコイルスターター
③	ロープガイド
④	集草バッグ
⑤	リア排出カバー
⑥	刈高調整レバー
⑦	エンジンオイル給油口/オイルゲージ
⑧	オイルドレイン
⑨	ケーブルガイド
⑩	ガソリン給油口
⑪	エアクリーナー
⑫	フロートドレイン (ガソリンドレイン)
⑬	プライマーポンプ
⑭	デッキウォッシュ
A	ドライブコントロールレバー (BL17SP 自走式のみ)

1. セットアップ 本機BL17を箱から出し組立を行う際に次のことにご注意ください。

- 取扱説明書の5ページに従い、芝刈機本体を箱から取り出し、ハンドルを伸ばしてしっかりと固定してください。
- ケーブル：ハンドルから伸びるケーブルをケーブルガイドを使ってハンドル下部に固定します。ケーブルガイドには3つの凹みがあります。(取扱説明書6ページ)

ケーブルガイド



- 集草バッグ：芝を刈り集める際には④の集草バッグを使用します。組立を終えた集草バッグの『L字』のフックを本体排出カバーの軸(赤矢印)部分にしっかりと取り付けます。(取扱説明書6ページ)



集草バッグ取付け部分

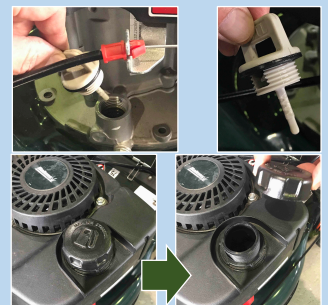
- 集草バッグを使わない場合：(取扱説明書6ページ)
集草バッグ無しでリアから芝の排出ができます。取扱い説明書付属の『リア排出プラグ』を使用します。リア排出カバーを持ち上げ、プラグを排出カバー、ヒンジ部にある長方形の穴に差し込みます。



リア排出プラグ

2. エンジンオイルとガソリン

- エンジンオイル 注意：出荷状態ではエンジンオイルが入っておりません。
エンジンオイルを⑦の給油口からエンジンに注油して下さい。新品の状態では600mlを目安にゆっくりと注意しながら注油を行なって下さい。最後にオイルゲージを使い、ゲージ網目にオイルレベルがあることを確認して下さい。 ※エンジンオイル：10W-30
- ガソリン 警告：ガソリンは引火性が高く大変危険です。取り扱いにご注意ください。
ガソリンを⑩の給油口からエンジンに給油して下さい。800mlを目安に注意しながら給油を行なって下さい。
注意：芝生の上にガソリンをこぼすと芝が枯れてしまいます。

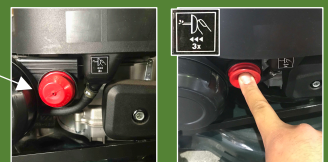


3. エンジンの始動と停止 注意：本機はスイッチ、チョークがついておりません。

次の手順に従ってエンジン始動をしてください。

- (1) エンジン横側にある⑬のプライマーポンプを指で3～5回押し燃料を供給してください。
- (2) ①の刈刃コントロールレバーをしっかりと握ってから、②のリコイルスターターロープを引くことでエンジンが始動します。

⑬プライマーポンプ



※リコイルスターターは軽く引っ張って抵抗がかかったところから強く引いてください。

注意：エンジンがかかると刈り刃が回転します。刈り取り高さを低くしたまま芝生の上でエンジンをかけると、芝を痛める場合があります。

● エンジンの停止

エンジンを停止するときは、握っている①の刈刃コントロールレバーを放す(解放する)ことで刈刃とエンジンを完全に止めることができます。

警告：異物にぶつかった際は、手を放してエンジンを止めてください。



①刈刃コントロールレバー

②リコイルスターター

4. BL17SP 自走式芝刈機の走行

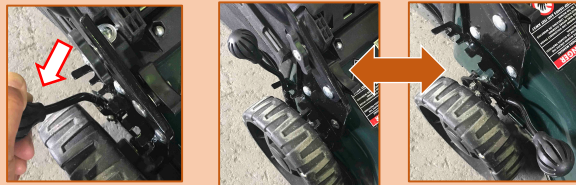
①の刈刃コントロールレバーを握ったまま、Aのドライブコントロールレバーを握ると後輪が回転し、自走します。自走を止めるにはAのドライブコントロールレバーを放します。刈刃コントロールレバーを放すと刈刃とエンジンが止まります。



5. 刈高調整 (BL17手押し式7段階 BL17SP自走式5段階)

リア右側ホイールの上に刈取り高さを調整する⑥のレバーがあります。写真の矢印(白)のように、ホイール側にレバーを引いてから前後に動かし、お好みの高さのくぼみにレバーを固定して下さい。

注意：刈取り高さは徐々に低くし、お好みの高さにして下さい。
初めから短く刈ると成長点まで刈り取ってしまう可能性があります。



6. 使用後の手入れ

芝刈作業を終えたら、デッキ内部に付着した刈り芝を洗い流しましょう。④のデッキウォッシュのノズルにガーデンホースのワンタッチカバーを差し込み、水を出したままエンジンを掛けて刈り刃を回して下さい。刈り刃、デッキ内側についた刈り芝を洗い流すことができます。

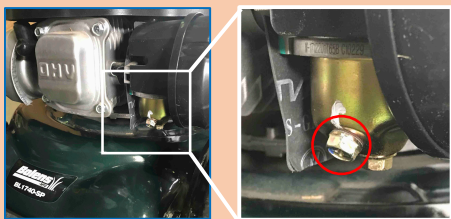
注意：刈り芝がついたまま放置するとデッキの腐食に繋がる可能性があります。
注意：水が飛び散ることがあります。洗浄は安全な場所で行ってください。



7. メンテナンス

より長くご利用いただくために、また長期保管後のトラブルを減らすために、定期的なメンテナンスが必要となります。

- 燃料の管理：芝刈機を長期（1ヶ月以上）保管する場合は本機から燃料を完全に抜き取って下さい。
注意：ガソリンが燃料タンクやキャブレターに残ったままだと劣化しトラブルの原因となる場合があります。



●燃料（ガソリン）の抜き方

燃料タンク内に残ったガソリンはポンプ等を使用して抜き取って下さい。キャブレター内に残ったガソリンは②のフロートドレンボルト（左写真の赤○部分）から抜き取ります。

注意：ドレンボルトの下にフロート固定ボルトがあります。ドレンボルトは斜めに入っているボルトです。真下から真直ぐ入っているボルトを緩めないで下さい。

②のドレンボルトを取り外す際は、【10mm】のスパナ、メガネレンチもしくはソケットレンチまたはボックスレンチを使いボルトを緩めて下さい。

注意：サイズの合わない工具を使用するとボルト頭を痛めてしまう可能性があります。ボルトが緩んだら手で取り外します。緩めるとすぐに燃料が流れ出すので、適当なカップ等で受け、処分して下さい。その後しっかりとボルトを締めして下さい。

警告：ガソリンは引火性、爆発性が高く大変危険です。取扱いには十分な注意が必要です。



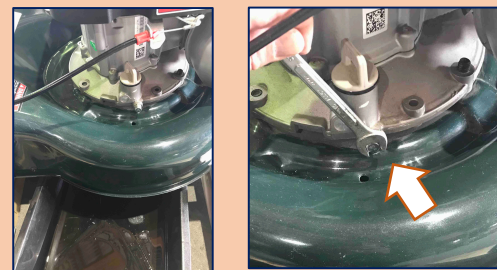
●エンジンオイルの交換

エンジンオイルは初めて使用してから5時間後、その後はシーズンごとまたは25～50時間ごとと交換して下さい。オイルは⑧のオイルドレン（⑦オイル給油口下部）から抜き取ります。オイルドレン下のデッキ部の穴から下に落とすため、デッキ下にオイル受けを用意します。次に⑧のドレンボルトを外します。【10mm】のスパナ、メガネレンチもしくはソケットレンチまたはボックスレンチを使いボルトを緩めて下さい。

オイルが抜けたらボルトをしっかりと締め、デッキを清掃して下さい。

注意：オイルの処理は各自治体の指示に従ってください。

- ※エンジンオイル：10W-30
- 交換用エンジンオイルの目安量：約600ml
- ゲージでオイルレベルを確認して下さい。



●エアクリーナーの交換

エアクリーナー⑩は使用前に必ず確認して下さい。破損や汚れがひどい場合は交換し、汚れがひどくない場合は清掃して下さい。

- ※エアクリーナー部品番号 【100004764】 Air Filter Element

